

【平和都市宣言】世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。(昭和60年12月3日)

発行／我孫子市 編集／企画総務部秘書広報課 広報室 〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地 ☎04-7185-1111(代表) ☎04-7185-1520

我孫子市から「平和」を考える ～平和への取り組み～

8月6日は広島に、9日は長崎に原爆が投下された日です。また、8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」です。戦没者・原爆死没者の追悼と恒久平和を祈り、黙とうをささげましょう。



被爆78周年平和祈念式典

- 日 8月12日(土)17時～18時(受付16時30分～)
- 所 手賀沼公園内平和の記念碑前※雨天時アビスタ
- 内 黙とう、献花、長崎派遣中学生の報告など
- ※ノーネクタイでご参列ください。
- 問 社会福祉課・内線649

終戦から78年を迎え、戦争体験者が高齢化する中、過ちを繰り返さないように当時の悲惨な状況を後世へ伝えていくことが重要です。そのための取り組みの一つとして、平成17(2005)年から市内中学校の代表生徒を被爆地に派遣しています。

今年は、8月9日(水)に長崎市で開催される平和祈念式典への参列などを予定しており、私と教育長も同行します。派遣中学生は、現地を感じたことを市の平和祈念

式典で報告しますので、ぜひご参列ください。また、派遣に参加した学生が、自身の体験を小学生に伝えるリレー講座を市内全小学校で実施しています。

これらの取り組みを通じて戦争の恐ろしさを後世へ伝え、多くの方が平和について考え、戦争や核兵器のない世界が実現することを強く願っています。

市長 星野 順一郎

平和のシンボル

平和の記念碑と平和の灯

記念碑(上写真)…昭和61(1986)年建立。被爆した旧広島市庁舎の側壁と敷石を使用しています。

灯(右写真)…平成27(2015)年設置。広島平和記念公園にある「平和の灯」から火を譲り受け、広島派遣中学生が点灯しました。



手賀沼公園、アビスタに多くの平和のシンボルを設置しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

折子鶴

平成27(2015)年寄贈。「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが、生前に折った貴重な折り鶴です。



◀市HP

展示

◎平和事業パネル展・平和祈念の折り鶴展

- 日 8月11日(祝)～25日(金) 所 アビスタ
- 内 市で実施した平和事業の写真・市民から寄贈された折り鶴などの展示
- 問 社会福祉課・内線649

